

第1回

中国「知財」
市場レポート加熱するドメイン市場と
asiaドメイン

今年はBusiness.com(3億4,500万ドル)やChinese.com(81万数ユーロ=約120万数ドル相当)など、ドメインネームの高額売買が複数成立し、ドメイン名の重要性や資産価値を改めて認識させられるような出来事が続きました。また、今年は10月よりasiaドメインの優先登録が開始されることもあり、ドメイン市場の加熱に拍車がかかっています。

知財面からのasiaドメイン登録受付の特徴

asiaドメインは「ドットアジア・オーガニゼーション」という香港の非営利団体がレジストリとなっているドメインで、そのユニークな登録受付方法やオークション形式の登録方法など多くの個人・企業が注目しています。

知財面から見たasiaドメインの特徴としては、通常のドメイン取得が「早い者勝ち」であるのに対し、当ドメインはドットアジア・スタートアッププロセス(サンライズ及びブランドラッシュ:優先登録及び同時申請)という段階的な登録形式を採用しているという点が挙げられます。この方法の場合、登録商標者が一般登録に先駆けて登録受付が可能となるため、通常の登録方法と比較して保護されやすくなっています。また、アジア内商標未登録企業も登録商標者に続いて登録受付が可能で、商標登録を行っていない中小企業の保護措置がとられています。

ただし、一方で商標登録の対象国が70カ国以上あること、SUNRISE2(2007年11月13日～)の段階では商標と一致する文字列だけではなく、登録されたクラスの商品やサービスを結合した文字列まで拡大して優先登録の対象となっていることなどから、短期間で大量のドメインが押さえられてしまうことも予想されます。

現在Yahooで「Asia Ltd」をキーワードに検索すると、完全一致で1400万件以上ヒットし、今や「asia」という言葉は社会全体で多方面に渡り浸透しています。ドメイン自体に意味を持つ「asia」ドメインは、アピール効果という観点から特にアジアを活動の拠点にしているNPO団体や企業、平和団体の大量登録も予想されます。よって、必要なドメインに関しては、早い段階で優先登録を利用して申請されるほうが良いでしょう。

asiaドメイン受付開始に伴う対応策

新たなドメインが開始されると必ずと言っていいほどドメインの「陣取り合戦」が始まります。そうすると、気になるのがサイバースクワッシング(ドメインネームの不法占拠)の存在です。一度サイバースクワッシングの被害に遭うと、ドメイン名を奪回するのに、時間と労力がかかります。また、万ードメイン名を奪回できない場合は、ビジネス自体が破綻に追い込まれる危険性もあります。

さらに、企業対サイバースクワッターではなく、企業対企業でドメイン名を取り合うというケースも考えられます。かつての「nissan.com」の案件が良い例でしょう。当時日産USAは当該ドメイン取得のために膨大な費用と時間を裁判に費やしましたが、結局敗訴に終わっています。このため、日産は現在.comのドメイン名として、「nissan-usa.com」「nissanmotors.com」「nissandriven.com」を使用せざるを得ない状況に置かれています。この事件は、グローバル企業である日産自動車ですえ全世界のドメイン名を完全に管理しきれなかったという点で世間に大きな衝撃を

与えました。

asiaドメインの開始にあたって、上記に類似する案件が発生する可能性は十分考えられます。これらのトラブルを防止するためには、企業自身が自社に関連するドメインに対して、早めの段階で取得から保護までの包括的な戦略を立て、確実に登録・維持管理していく必要があります。

今日ドメインは、単なるネット上の住所的役割だけではなく、商標のように「出所表示」「広告宣伝」「品質保証」といった重要な機能を果たしています。こうしたドメインの知財価値増大に伴い、転売、アフィリエイト、フィッシングなどを目的としたサイバースクワッシングは後を絶ちません。ドメインが知的財産として国際的に保護されるようになった現在、商標と同様の認識・ケアが必要です。自社のアイデンティティとしてのドメインを守り、ユーザーに安心できるサービスを提供するためにも、取得・運用・管理・保護の各段階において、適切なマネジメントを推進していくことが企業にとって重要な課題であるといえるでしょう。



種別	表記例/対象等
国際トップレベル	.com(商業) .net(ネット関連) .org(非営利組織) .gov(政府関連) .edu(教育関連) .info(情報関連) .name(個人) .tv(TV) .sh(shop) .travel(旅行関連) .ac(学術関連) .cc(商業関連) .mobi(携帯用) .ws(webSite) .biz(商業) asia(アジア地域)
セカンドレベル(中国)	.ac.cn(国内科学研究機構) .com.cn(国内企業) .gov.cn(国内政府関連) .org.cn(国内非営利組織) .net.cn(国内ネット機構) .edu.cn(国内教育機構)
中国語ドメイン(大陸)	中国語.cn(簡・繁) 中国語.中国(簡・繁) 中国語.公司(簡・繁) 中国語.公司.cn(簡・繁) 中国語.網絡(簡・繁) 中国語.網絡.cn(簡・繁) 中国語.com 中国語.net 中国語.sh 中国語.io 中国語.ac

そのほかトップレベル、セカンドレベルを併せ、中国で申請可能なドメインは80種類以上に及ぶ

DATA

上海博邦知識産権服務有限公司(BOB)
上海市長寧区福泉路111号神州数码大厦1幢2F-B
Tel: (021) 6470-7976 Fax: (021) 6470-7869
URL: http://www.bob.net.cn/JP/index.htm